

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

北京五輪では、三連覇のかかったフィギュアスケート男子に出場した羽生結弦選手が、フリーとショートプログラムとの合計で四位に終わり、メダルを逃しました。それでも、怪我で体調が万全の状態ではなかったにもかかわらず、①前人未到の「クワッドアクセル(四回転半ジャンプ)」にチャレンジした結果、転倒した羽生選手に対して、客席からは惜しみない拍手が湧き上がりました。

女子では世界初となる超大技の「トリプルコーク(縦三回転)」に挑戦し、いったんは着地したものの、バランスを崩して転倒した岩淵麗楽選手に対して、各国の a ライバルたちが駆け寄り、b 彼女の健闘を心から称えている c ようすには、世界中の d 人々が感動を②覚えまじった。これらのシーンに共通していたのは、失敗か成功か、A 勝ったか負けたかに関係なく、自分の思いや意志に従って、失敗を恐れることなく、勇敢にチャレンジした者への「リスペクト」でした。

この本の冒頭で言及した「他人事だからと他人の失敗を気楽に責めることで憂き晴らしする」というネガティブな傾向とは真逆に、「他人の勇気あるチャレンジに対して、成功すれば自分事のように喜び、失敗しても健闘を称えて敬意を払う(リスペクトする)」というポジティブな「時代の雰囲気」が、若い世代の間には芽生え根付きつつあるように思えてならないのです。

一九五〇年代半ばから日本が成し遂げた高度経済成長の原動力となったのは「工業製品の輸出産業の③発展」です。明治維新以来、西洋で生み出されたもの(製品)を真似て、その精度や性能をさらに上げるのは得意だったため、海外では「日本の製品はすごく品質が高い」という信用と評価を得ることができました。その④結果、日本は輸出産業を伸ばし、外貨を獲得して経済成長へとつなげたわけですが。

それは「おもしろそう」とか「こんなものがあつたらいいな」という発想から生まれた Google や Facebook など、いわゆる「G A F A」と呼ばれる四大 IT 企業の誕生と発展の経緯とは全く異なるものでした。

B 最近、日本でも、かつてとはちがうムーブメントが起きています。

「おもしろそうだから」「やってみたいと思ったから」などの理由でビジネスや社会活動を始める若い世代のひとたちが増えているのです。彼らは「誰かに指示されて」ではなく、あくまでも「⑤自分の意志」で行動します。「何がいまの時代の正解か」を求めて「自分さえ得れば他人はどうでもいい」と考えるのではなく、「何がおもしろいか」「どうすれば楽しくなるのか」を目指して「仲間と共同で目標を達成したい」と願うのです。

そんな従来の日本になかった潮流の⑥背景にあるのが「リスペクト」です。この時代の変化が、若い世代から数多くの挑戦する者たちを生み出している要因ではないかと私は推測しています。チャレンジャーたちがどんどん出てくると、さらに「果敢に挑戦した者には成否を問わずリスペクトする」というポジティブな風潮が広がり、いつか、この世界全体が変わるかもしれません。

⑦ただし、ここで一つ、注意してほしいことがあります。

時代の流れが少しずつ変わりはじめると、新しい価値観を持ったひとたちが現れるようになります。C、そんなひとたちが増えることで、また新しい価値観が広がり、やがて世界全体が変わっていきます。

しかし、いまのように時代が少しずつ変わり始めて、新しい価値観のひとたちも現れつつあるからといって、誰もが自然とそんなひとたちようになれるという話ではないのです。周囲がいくら変化したとしても、自分から何もしなければ、自分だけ取り残されてしまう可能性の方が高いのです。

家庭、学校、職場など、周囲を取り巻く環境とのやりとりによって影響を受けることで、ひとの考え方や行動は変わります。そのように、ひとの考え方や行動に影響を与えて変化させる環境を仮に「文化」という言葉に置き換えるならば、私たちはつい「文化が変われば、文化がひとに与える影響も変わるので、ひとの考え方や行動そのものも変わる」と考えたくありません。

しかし、ひとが変化する要因を環境の変化にだけ求めるのはちがう気がします。たとえどんなに時代の流れが変わって、まわりのひとたちや取り巻く環境が変化し始めたとしても、そのひと自身が何か気づいて、進みたい方向に動き出さないかぎり、何も起こらないと思うのです。いくら失敗学や⑧創造学を読んで、「自分の頭で考えて、失敗を恐れずにチャレンジすれば、クリエイティブな生き方ができる」と気づいてもらえたとしても、自ら動き出そうとしなければ、結局、何も変わらないのです。

失敗学や創造学は「楽しいことがしたい」「おもしろいことをやりたい」と思い立って、自分の意志で動き始めようとするひとを応援することはできません。しかし、自分から動くことからはじめない、他人任せのひとを動かすことはできません。

すべては、あなた自身が動き出すことからしか始まらないのです。時代の変化を感じて、勇気を持って動き始めたとしても、最初からうまくいくことは滅多にありません。失敗したり、思い通りにいかないことが積み重なっていく中で、ジタバタしながら、それでも諦めず、いろんな挑戦を続けていくうちに自分自身が変わっていく、自分が変わっていくけば、まわりも変わっていく……そのくり返しが、創造的な人生を送るためには必要なのです。

(畑村洋太郎『やらかした時にどうするか』による)

(注1) 冒頭——文章やものごとのはじめの部分のこと。

(注2) 言及——話の内容がそのことにふれること。

(注3) G A F A——アメリカ合衆国の巨大企業である、Google、Amazon、Facebook(現在の社名はMeta)、Appleの頭文字をとったことば。

(注4) ムーブメント——動き。運動。ここでは、社会的な動向や動きのこと。

(注5) 潮流——その時代の世の中の傾向のこと。

(注6) 推測——ことがらの内容をわかっていることをもとに想像すること。

(注7) 果敢——思い切って行動する様子のこと。

(注8) 成否——ものごとが成功するか失敗するかということ。

問1 A C にあてはまることばを、次のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア すると イ あるいは ウ なぜなら エ つまり オ ところが

問2 線部①「前人未到」の意味として最もふさわしいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 考えられないほどの利益を得ること。
- イ 今まで誰も行き着いたことがないこと。
- ウ ことばで言い表せないほどひどいこと。
- エ 危険なことにあえて挑戦すること。

問3 線部②「覚えました」の主語として最もふさわしいものを、……線部a～dから一つ選び、記号で答えなさい。

問4 線部③「発展」の同義語(似た意味の言葉)として最もふさわしいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 発見
- イ 努力
- ウ 進歩
- エ 衰退すいたい

問5 線部④「結果」の対義語(反対の意味の言葉)として最もふさわしいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 結論
- イ 原因
- ウ 内容
- エ 出発

問6 線部⑤「自分の意志」とありますが、どのような意志ですか。それについて次のようにまとめるとき、「 」に入れることばを本文中から十四字でぬき出して答えなさい。

- ・おもしろいことや楽しくなる方法を目指して「 」と願う意志。

問7 線部⑥「背景」・⑧「創造」の熟語の構成を説明したものととして最もふさわしいものを、次のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 反対や対たいになる意味の漢字を組み合わせたもの。
- イ 同じような意味の漢字を組み合わせたもの。
- ウ 上の漢字が下の漢字の意味を説明(修飾しゅうじやく)しているもの。
- エ 上に「無・不・未・非」などがついて下の漢字を打ち消しているもの。

問8 線部⑦「ただし、ここで一つ、注意してほしいことがあります」とありますが、筆者はどのようなことに注意してほしいと考えているのですか。次のように説明するとき、「 」に入れることばを、本文中のことばを使って、二十字以内で答えなさい。

- ・時代の流れが変わって、新しい価値観を持つひとたちが現れても、「 」ということ。

問9 本文の内容と合っているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本では若い人たちが海外の創造的な製品を真似て、よりすぐれた製品を作り出すようになっていく。
- イ 最近の若い人たちには、たとえ失敗しても自分の意志で挑戦しようとする人に敬意を示す傾向がある。
- ウ 自分の頭で考えて挑戦しさえすれば、創造的な人生を送れると気づくことが最も大切なことである。
- エ 時代の流れの変化を読み取って自分から動き出せば、自分のやりたいことで成功することができる。

一一 次の各問いに答えなさい。

問1 次の 線部の漢字の読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 泉いずみから水がわき出る。                      ② 警察けいさつに相談する。
- ③ その件は承知しょうちしました。                      ④ ねむたくて目をトじる。
- ⑤ センアクせんあくの判断をする。                      ⑥ 将来はケンチクけんちく家になりたい。

問2 次の①～⑥の□にあてはまる漢字を、後の漢字群から一つずつ選んで答えなさい。

- ① さるも□から落ちる                                      ② 飛んで火に入る□の虫
- ③ □の心子知らず                                              ④ 亀かめの甲こうより□の劫ごう
- ⑤ □に小判                                                      ⑥ 雨降って□固まる

漢字群 夏・年・土・猫ねこ・木・地・親・夜